



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎52-1111 発行1月1日 No.263

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめよう。
- 教育を尊び青少年を健やかに育てよう。
- 環境を清潔にし健康の増進につとめよう。
- 生活を工夫しよりよい風習をつくりよう。
- 力をあわせねばり強く住みよい町を築きよう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ

交通安全 今日も笑顔でゆずりあい

広報みまた 1月号

1月10日は「110番の日」

- 皆さんの「素早い110番通報」が事件・事故の早期解決につながります。
- 事件・事故を見たら聞いたたら、あわてず、ゆっくり「110」とダイヤルしてください。
- 何があったか (けんか、泥棒、交通事故など)
- いつ (発生の時刻)
- どこで (発生の場所、付近の目標物)
- 犯人は (人相、特徴、服装、人数など)
- 逃げた方向は (○○通りを××の方へ逃走)
- 何で逃げたか (逃走手段、自動車、バイク、ナンバー、車の色など)
- あなたの住所、氏名、電話番号

おしらせ



あわてずに
正確な110番

地震に対する心構え

備えあれば憂いなし

○地震では、戸外よりも家の中でのけがをする人が多いようです。家の中には、落ちたり倒れたりするものがたくさんありますので、日頃から家具の配置を考えたり、上物を乗せないようにしましょう。

○地震が来たら、まず、避難をしなければならぬこともあります。最寄りの避難場所がどこか、家族で歩いたりして確認しておきましょう。

○非常食・救急医薬品・懐中電灯・携帯ラジオ等は、いつでも持ち出せるようにまとめて準備しておきましょう。

グラツときたら

火の始末

・揺れている最中に外に飛び出すことは非常に危険です。机やテーブルの下などに入り、その足にしっかりとつかまって揺れがおさまるまで待ちましょう。また、寝ている時は布団を頭までかぶり、落下物から身を守りましょう。

・車を運転している時に地震が起きたら、左側に寄っていったん停止しましょう。

・屋外にいる時に地震が起きたら、まず手荷物などで頭を保護して建物やブロック塀から離れましょう。

愛の献血

次のおり献血にご協力いただきました。

○十月三十一日
役場(来庁者含む) 八十名

誠にありがとうございました。今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いします。



愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。誠にありがとうございました。

平成三年十一月一日から
平成三年十一月三十日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
内村 武雄	嫁	朋子 (48)	植木	三万円
長浜 亨	妻	弥栄子 (58)	東原	五万円
中西 政徳	妻	小代子 (37)	上米	五万円
足立 泰之	父	定之 (81)	山王原	三万円
小林 久子	夫	龍二 (75)	小鷲葉	二万円
上原 エミ	夫	政光 (80)	中米	二万円

三股町の人口

平成3年12月1日現在
 男 10,137人 出生 19人
 女 11,336人 死亡 9人
 計 21,473人 転入 69人
 前月比+22人 転出 57人
 世帯数 7,069戸 (+15戸)

スポーツ少年団

三股町空手道 (少林寺流)

団員は現在30名。中村和男さん (37) の指導を受けながら、毎週月・水・金の3回、練習を行っています。

平成4年
1月号



あけまして
おめでとう
ございます



町長 永昌 徳
福永 昌徳

町民の皆様には、希望に満ちた平成四年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、町政運営に対し一方ならぬご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

お陰を持ちまして昨年は、三股小学校の大規模改造や三股西小学校・三股中学校の校舎増築などの義務教育施設整備事業をはじめ、勝岡蓼池線の道路改良や都城三股線の交通安全施設整備、上米公園・一町田公園の整備、農道やかんがい排水などの農業生産基盤整備、健康管理センターなどの用地取得、更には介護支援センターの開設や消防補給車の更新、役場行政事務の電算化などの諸事業を順調に推進することができ、本町が

二十一世紀に向かって更に躍進するための確かな足掛かりを築くことができました。

また、昨年は十一月二十三・二十四の二日間、第一回目の「三股町ふるさとまつり」を実施致しましたが、近隣市町村の様々なイベントと競合したのにもかかわらず、町内はもとより、都市市・北諸県郡、遠くは宮崎市などから延べ三万五千人もの来場者があり、大変な賑わいをみせました。特に、日野美歌ショーやのど自慢大会、芸能発表会などが次々に繰り広げ

年頭に当たって

られたメインステージや地場産品などの展示即売が行われた歩行者天国、子供たちの「わくわくランド」は大盛況で、活力ある三股町が創出された二日間ではなかったかと思っております。

近年、国際化・高齢化・高度情報化等の進展を背景に、住民の行政需要も複雑多岐にわたっておりますが、このような時こそ二万一千町民が一体となって、地方の時代にふさわしい個性豊かな魅力あふれる町づくりを力を合わせていかなければならないと思っております。

私はここに、平成四年の輝かしい新春を迎えるに当たり、町長としての責務の重大さを改めて自覚するとともに、皆様から寄せられた信頼と期待に応えるべく、対話と協調を基本姿勢に更に「豊かで住みよい活力ある町づくり」に全力を傾注していく決意を新たにする次第であります。

平成四年度の主な事業と致しましては、健康管理センターの建設をはじめ、第三地区公民館やテニスコートの建設、農業集落排水事業、椎八重公園や上米公園、一町

田公園の整備事業などを予定しており、町議会のご理解・ご協力を賜りながら取り組みたいと考えております。

このほか、道路の改修整備や雨水対策事業などの生活環境整備、生涯にわたる福祉対策、農畜産業や商工業の振興など諸事業全般にわたり、皆様のご意見・ご要望を広く拝聴しながら最善の努力を致す所存であります。

また、公民館制度の見直しについては昨年、地区単位・集落単位で説明会を実施致しましたが、皆



三股西小の増築工事

皆様のご理解とご協力をいただきながら、是非とも新年度から自治公民館制度をスタートさせたいと考えております。「ふるさとまつり」についても、多くの町民の皆様からご好評をいただきましたので、本年も更に内容を充実して実施したいと思っておりますし、大規模な公演会やコンサート、研究会などのできる文化会館についても平成五年度には着工したいと考えております。

どうか今年も、町政発展のため尚一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。終わりに、この平成四年が皆様にとって最良の年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭に当たってのご挨拶と致します。

新年のごあいさつ

明けまして

おめでとうございませう。

旧年中はいろいろとお世話になり、ありがとうございます。今年も何卒よろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

昨年、町立病院は「正門の建立」と「院内改装」を行い、見違えるほどの変容を遂げました。これも

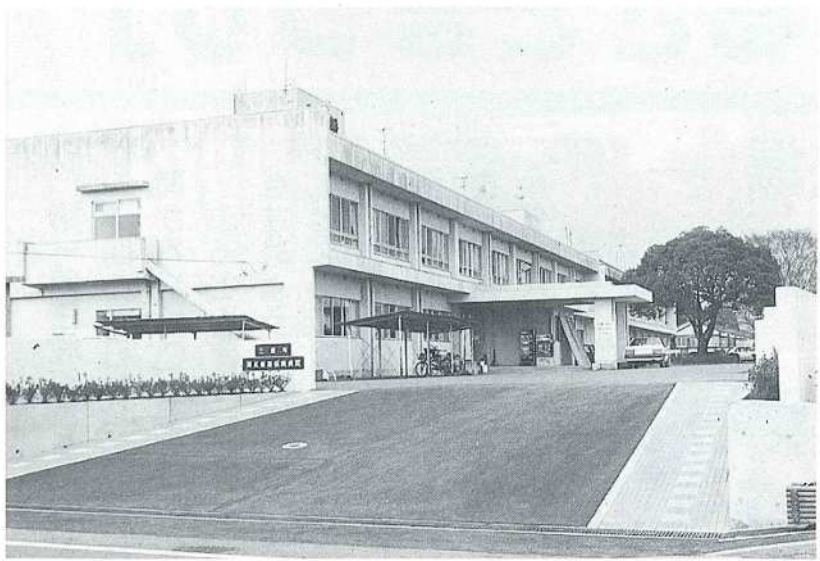


町立病院長 昭人 叶

偏に皆様方のお陰でございます。

患者さんには清潔さと明るさを提供し、職員

広くなった町立病院正門



介護のことなら
なんでもご相談を!!

在宅介護支援センター

町立病院内に、在宅介護支援センターを開所しました。

センターでは、町内にお住まいの、おおむね六十五歳以上の一人暮らし・寝たきり・痴呆性・夫婦世帯のお年寄り、または、お世話をされている家族の方などを対象に、「介護の方法がわからない」「便利な介護機器や介護用品はないか」など、介護についてのご相談をお受けします。

また、ショールームにベッドや車イスなどの介護機器、介護用品



には働きやすく、やる気の出るような環境になりました。

年末には、在宅介護支援センターがスタートしました。六十五歳以上の要介護老人や介護者の相談相手をしていただきます。訪問看護とともにご利用ください。最後に、今年一年が皆様にとって、健康で幸福な年でありますよう祈念申し上げます。



カウンターも利用しやすいように改装

を展示し使い方の指導紹介をするほか、公的な保健・福祉サービスの利用やその手続のお手伝い、あるいは直接に自宅を訪問して介護の仕方などを指導助言します。相談は無料で、二十四時間体制で対応しておりますので、いつでもご利用ください。(夜間については、病院当直者が受付し、内容を聞きします。)

○センターの所在地
町立病院内一階歯科前
☎五二一―一五五

にぎわった「ふるさとまつり」

— 延べ35,000人が来場 —



メインステージに詰めかけた観客

第一回三股町ふるさとまつりが十一月二十三、二十四の二日間、役場駐車場を中心会場として開かれ、延べ三万五千人の人出で賑わいました。ふるさとまつりは、豊かな住みよい町づくりを進めようと町と農協、商工会、文化協会が一体となって取り組んだもの。定期的に各市町村の様々なイベントと競合しましたが、実行委員会のピールが功を奏したのか、近隣の都市や北諸郡内はもちろん、遠くは宮崎市などからも大勢の人がまつり見物に訪れました。

優勝は大重ルミさん(19) — のど自慢大会 —

郷土芸能やジエットマンショー

まつりは二十三日午前十時、福永町長や高畑議長、広瀬実行委員長などが正面ゲートに設けられたくす玉を割り、二日間の幕を開けました。まず、エーデルワイス幼児学園の園児たちがメイン会場に入場してマーチングを披露。続いて宮村小児童の大太鼓踊りと新馬場の棒踊りが披露されましたが、この模様はUMKのサンサンサタデーでも取りあげられ、広く県内に生放送されました。



テレビでも生放送された「大太鼓踊り」

その後、子供向けのジエットマンショーや三股中吹奏楽部による演奏が行われた後、午後三時半から「のど自慢大会」。町内外から応募した二十名がメインステージに上がって自慢の「のど」を披露。ほとんど全員がプロ並みの歌唱力で審査は難

航しましたが、「螢」を歌った上野の大重ルミさん(十九歳)が僅差で栄冠を手にし、二位には都市から参加した竹之下さん父娘がそろって選ばれました。

- 結果は次のとおり
- 優勝 大重ルミ(19歳、上新)
 - 二位 竹之下秀明(42歳、都市)
 - 三位 竹之下幸子(14歳、都市)
 - 三位 村山正廣(33歳、今市)
 - 敢闘賞 宗竜也(64歳、宮崎市)
 - 特別賞 山田功(85歳、梶山)

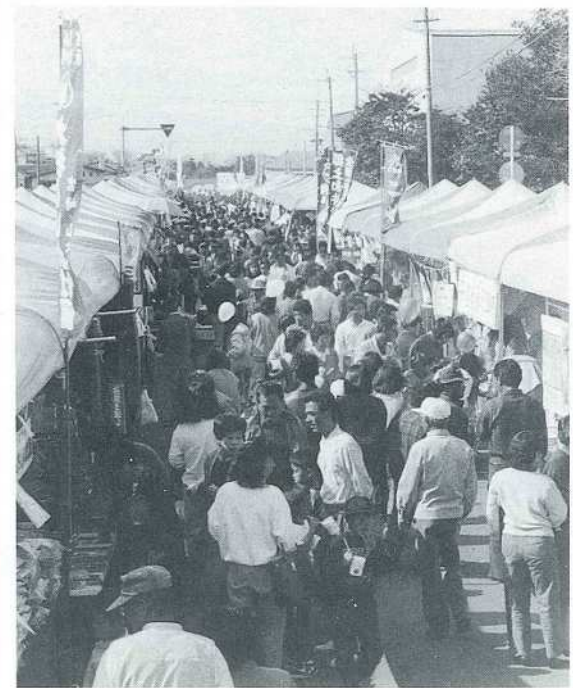
地場産品など展示即売

町道二百m・七十店舗

町道二百メートルを使った歩行者天国には、商工会や農協、企業、各種グループなどから七十を超える出店があり、お茶や椎茸、肉製品、農産加工品、陶器、間伐材を利用したイスやすのこなどの地場産品のほか、海産物や衣服、電化

製品などの商品を展示即売。市価よりだいぶ割安とあって、大勢の買物客が詰めかけ、二日間にわたって大変なにぎわいを見せました。また、ミニSLやフワフワネット、移動動物園が設置された五本松児童公園のワクワクランドで

は、子供たちが長蛇の列をつくり、児童や婦人、老人などの文化作品が展示された勤労者体育センターや中央公民館にもひっきりなしに人が出入りしていました。



日野美歌ショーや

芸能発表会

メインステージの二日目は、まず、マジックショー。都城奇術クラブの会員が次々に登場しておはこの奇術を披露。中には鳩を出したり、箱抜けの術を使うプロ級のマジシャンもいて、会場から盛んな拍手が送られていました。

午前十時と午後三時から各一時間は日野美歌ショー。テレビでもお馴染みの日野美歌さんがステージに現れると会場から盛大な



拍手が起り、「水雨」や新曲の「男と女のクリスマス」などを次々に披露。「男と女のラブゲーム」では、来場者の中から男性二名が飛び入りして日野さんとデュエットする場面も。

その後、文化協会主催による芸能発表会が約三時間にわたって繰り広げられた後、お楽しみ抽選会が午後四時から催され、当選番号が発表されるたびに会場はどよめきの声。特賞のカラーテレビを上米の山崎美代子さんが獲得し、二日間にわたった盛大なふるさとまつりは幕を閉じました。



橋の名前を募集

町では、新しくできる橋の名前を募集しています。この橋は、山王原～高才原～餅原を結ぶ農道にかけられるもので、現在、J R日豊本線の沖水川鉄橋上流で建設が進められており、平成四年度には完成する予定です。橋の長さは二七五m、巾員は八m(片側歩道付き)で、完成すると三股町一の長い橋になります。この橋に最もふさわしい名前を付けてください。

応募方法
官製ハガキに、橋の名前と、あなたの住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、左記までお送りください。ただし、橋の名前はハガキ一枚につき一つとし、一人何枚でも応募できます。

応募資格
町内にお住まいの方なら、どなたでも応募できます。

募集締切
平成四年一月三十一日(当日消印有効)

ハガキの送付先
千八八九一一九

三股町五本松一番地一

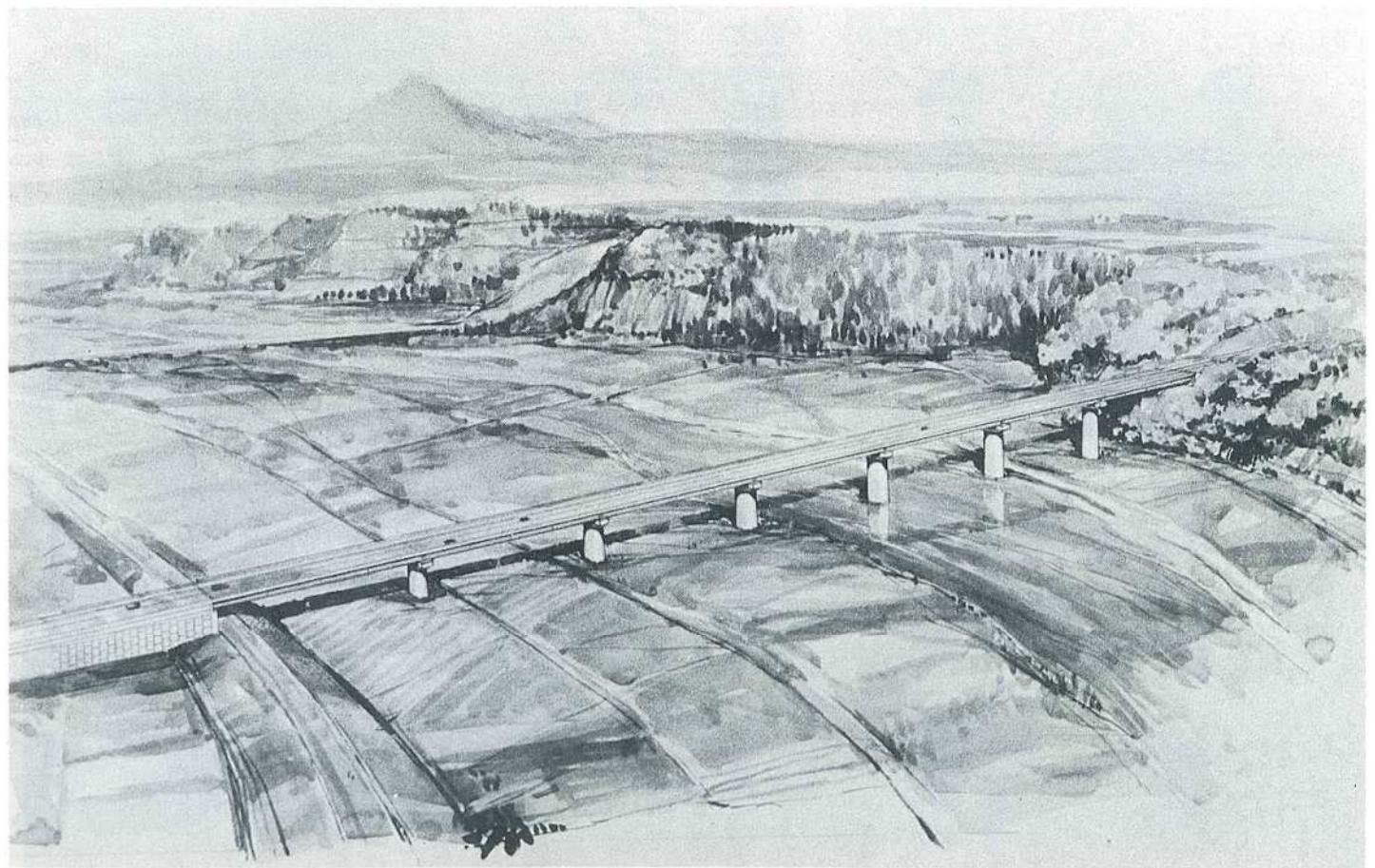
三股町企画調整課

☎五二一一一一

橋の名付け親になりませんか？

— 三股町で一番長い橋 —

山王原～高才原～餅原を結ぶ農道は、県営農免道整備事業として昭和六十二年に着手、現在、橋の工事が行われており、総事業費は約七億五千万円。平成四年度に橋、平成五年度には一部残っている取付道路も完成する予定で、農業生産輸送の合理化はもちろん、地域内の生活道路としてもその活躍が期待されておられ、一日も早い完成が望まれています。



あがな 贖いの日々

後悔、それは夜、寒さのため居室で身体を丸めているときに私の脳裏に広がってゆきます。

「あのときにあんな事故さえ起こしていなければ、今ごろは、コタツに入って菓子をつまみながら楽しそうにテレビでも観ていることだろう」そう考えるたびに、「何故あのとき、どうしてあんなことに、あのときこうしていれば、それ以前に何故あのとき、精神の安定を欠いた自分に早く気付かなかったのだろうか」と悔やまれてなりません。私は、自分の不注意により一人の尊い命を奪ってしまったのです。

それは十二月の初め、暮れであることと月初めということが重なって、朝から何となくあわただしい日でした。

当時、運送会社に勤めていた私は、その日、ある食品問屋の配達を請け負うことになりましたが、会社側からの指示が遅れたため、その問屋へ着いたのは約束の時間よりも三、四十分遅れてしまいました。それが原因で問屋の人と口論と

なっていました。その後、車に積んだ品物を地図をたよりに配達しながらも、朝、問屋の人と口論したことが頭から離れず、イライラした状態が続いていました。そのためを探している

小売店が思うように見つからず、仕事が遅れます。気が持たず、仕事が遅れる一方でした。

そんな精神状態でしたから、普通なら目に入るべき標識を見落してしまい、裏通りの一方通行を逆行していることに気が付かず、さらにその先の交差点で安全確認までも怠ってしまい、交差点の左側から走って来た自動車と衝突して、その反動で右側に居合わせた歩行者にぶつかって死亡させてしまいました。

私は、自分の目の前に倒れている人を見て、「これが現実の出来事なのか、もしも夢ならすぐに覚めてくれ」と心の中で叫びました。しかし、残念なことにそれはまぎ

夢なら はやく覚めて

運転手 23歳

れもない現実の出来事であり、決して夢ではありませんでした。そして刑務所へ収容されるまでの間、被害者の遺族に対する賠償金の問題、裁判、身辺の整理、出所後の身の振り方など、とにかく事故を起こしてからの私は家財道具をすべて処分し、多くはなかったけど貯金も全部使い果たし、自分の身一つ以外何も無くなってしまいました。当時を思い起こすとまるで悪夢を見ていたような感じでした。それでも賠償問題、その他すべての身辺の整理が片付き、刑務所へ送られて来たときには、すっかり気持ちも落ち着き、ここで自分に課せられた刑期を務めれば、また社会へ出て十分にやり直しができるんだ、と言う気持ちで過ごしております。

しかし、夜になって寒さに身を震わせているとき、布団の中で寝つかれずにいるときなどは、今の自分の境遇に対する惨めな気持ちにめぐわれません。そんなときに、「後悔先に立たず」という言葉を思い出します。これは私一人だけでなく、私と同様に拘禁されてい

るすべての人達が思うことでしょう。

もう私は、このような思いは二度とたくはありません。そのためにも今迄の後悔を反省にかえ、早くもとの楽しい生活を取り戻し、そしてここで反省したこと、身に付いたことなどをこれからの生活に生かし、人間的にもできるだけ成長するような生き方を見つけて行きたいと思っております。そうすることによって、私の起こした罪や後悔は少しずつ消されてゆくと信じています。

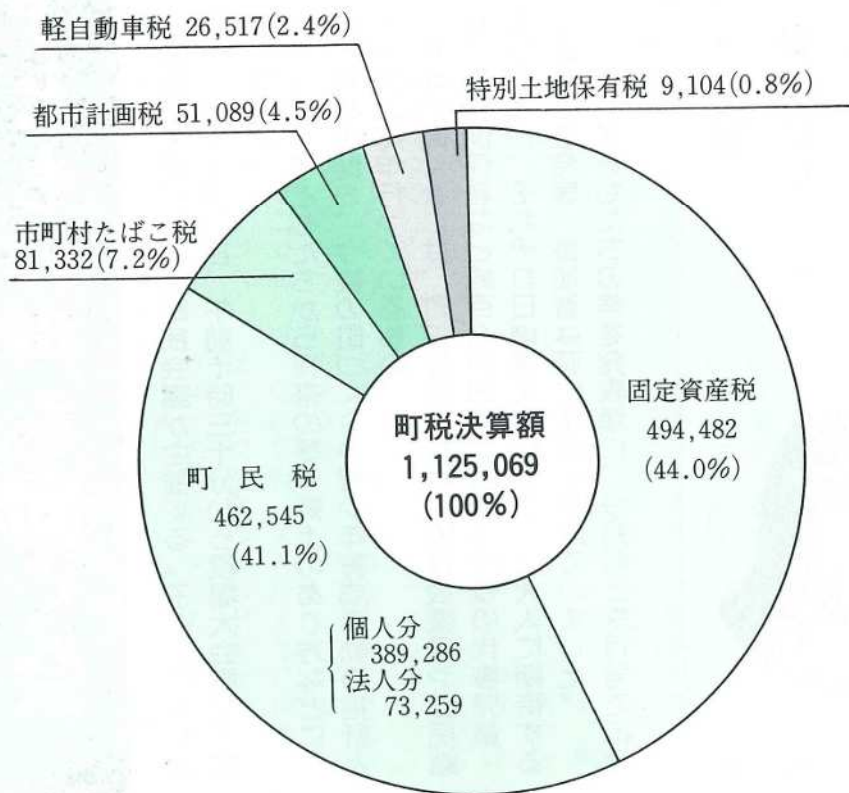
(東京交通安全協会ニュース「若いシグナル」より)



写真は本文とは関係ありません

町税の状況

(単位：千円)



町税収一、一二五、〇六九千円を町民一人当たり単純(平成三年三月末人口二一、二八八人)に換算すると、五二、八五〇円の町税を納めたこととなります。

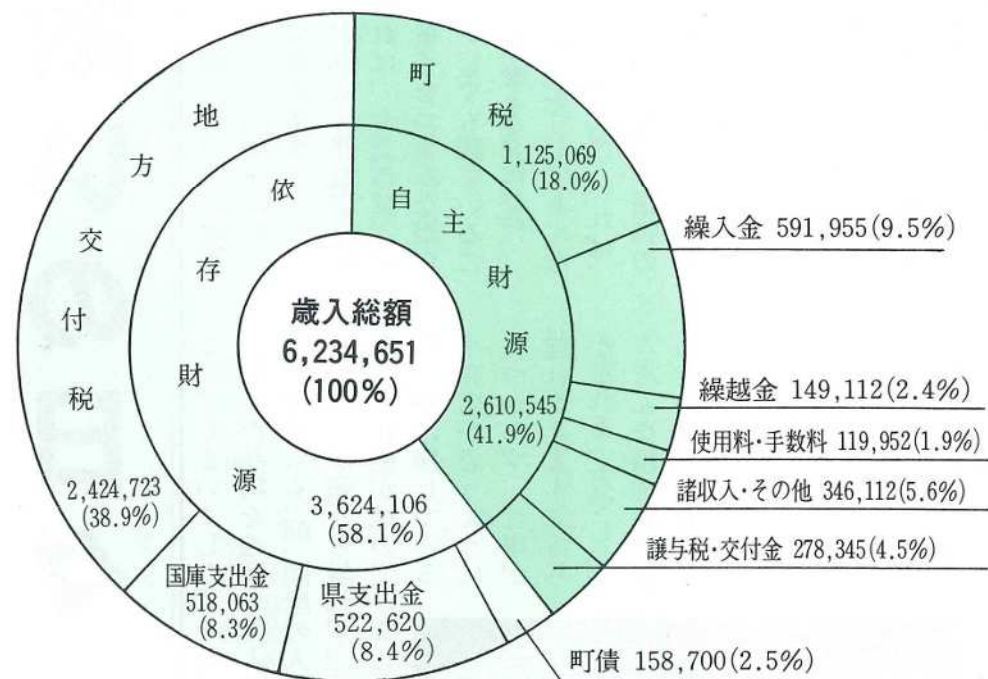
一方歳出では、地方交付税や町税、国・県からの補助金、町債(借入金)などを使って町民一人当たり二八五、〇九六千円でいろいろな事業が行われました。

一方歳出の性質別支出の状況では、義務的経費が三五・〇%、經常的経費一八・四%、投資的経費

三一・三%、その他一五・三%の割合となっています。

自主財源と依存財源の状況

(単位：千円)

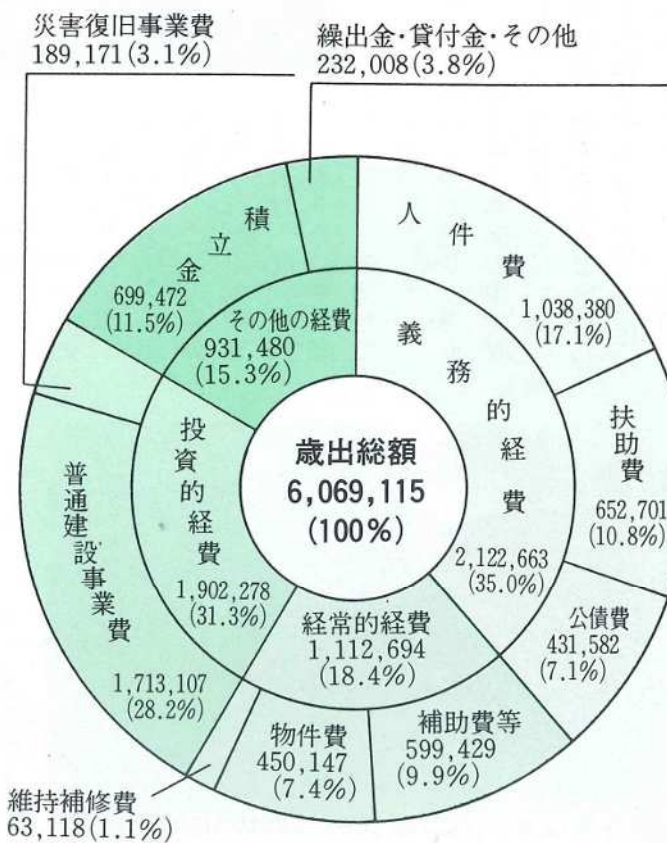


平成二年度一般会計歳入歳出決算の状況を次のようお知らせします。
 (平成三年十二月、議定例会で認定
 ・これをもって町条例「財政事情の公表」にかえます。)

平成二年度一般会計歳入歳出決算

義務的経費・經常的経費 投資的経費等の状況

(単位：千円)



平成二年度三股町一般会計歳入歳出決算は、円グラフが示すように、歳入総額六、二三四、六五一千円(前年度五、二四八、〇五一千円)、歳出総額六、〇六九、一五九千円(前年度五、〇九八、九三九千円)で、これを前年度と比較すると歳入では、額にして九八六、六〇〇千円、率にして一八・八%の増となり、歳出では、額にして九七〇、一七六千円、率にして一九・〇%の増となっています。増の主要因として、町税八七、六五一千円、地方交付税一三六、

二二三千円、庁舎建設及び給食センター建設に伴う線入金五〇八、九四一千円が主なものです。また歳出では、歳入と同じく庁舎建設費、給食センター建設費等七六八、六九七千円が含まれていたことが大きいものとなっています。構成内容を見ますと、歳入では町税を柱とする自主財源は四一・九%と財政基盤は弱く、依存財源が五八・一%と高い比率を示しています。

平成二年度普通建設事業実施状況

事業名	事業費 (単位：千円)	主要事業の成果
庁舎増改築事業	354,386	継続事業、2年度分 増築1,701.82㎡ほか
宮崎産経大学建設負担金	50,000	駐車場舗装10,000㎡ほか
庁舎外来駐車場整備事業	12,145	用地取得面積499㎡、駐車台数28台
蓼池児童館増改築事業	12,339	増築81.15㎡、改築208.68㎡
農村地域定住促進対策事業	69,442	殿岡生活改善センター木造平家建283.86㎡ほか
農道整備事業	53,664	下原、村下、上山田、堀元農道ほか
町道整備事業	286,294	勝岡蓼池線道路改良事業ほか65件
山王原早水線雨水対策事業	44,702	ボックスカルバート布設、L=222.5m
公園整備事業	139,383	上米公園、蓼池公園、一町田公園
防災対策事業	18,993	防災行政無線移動系改修
三股小大規模改造事業	77,814	南校舎屋根及び窓枠改造ほか
給食センター建設事業	403,711	鉄骨2階建1,021㎡
その他	190,234	
計	1,713,107	

子どもの声を聞く会

児童生徒8名が発表

町教委と青少年育成町民会議が主催する「子どもの声を聞く会」が十一月三日、午前十時三十分から役場大会議室で開かれました。

これは、子どもたちから将来の夢や郷土のあり方などについて意見を聞き、今後の町づくりや青少年育成活動の指針とするため毎年行っているもの。

今年の聞く会には、町三役をはじめ、町議会議員や公民館長、教育関係者など約百名が出席。各小中学校の代表児童・生徒八名が、それぞれ日頃考えていることや大人に期待することなどを発表、参加者は深い感銘を受けていました。

なお、子どもたちの声を発表順に、今月号と来月号で紹介しします。

私は、こんな郷土にしたい



堀内 智美 梶山小6年

今、私達の住んでいる三股町は、自然にめぐまれ、たいへん住みやすいところだと思います。新聞やテレビでは、よく、公害や自然はかいいの報道をしますが、私達の三股のことは目にしたり、耳にしたことはありません。梶山は特に空気がきれいなところで私は大好きです。

でも、私には残念なことがあります。それは私の梶山小は生徒がだんだん少なくなってきたこととです。みんなの顔や名前をおぼえ、全校生徒が仲良くなるのは良い

のですが、運動会や学習発表会など、はく力が感じられません。また、そうじゃ草取りにたいへんな苦勞をします。来年私達六年生が卒業した後、四月に入學する生徒は七名で何年か先には複式学級になるかもしれないのだそうです。

そこで、私は次のようなことを思いめぐらしてみました。これは

私の夢かもしれませんが、いつか少しでも実現できることを期待したいのです。

先に、私の友達が帯広に行き、むこうの様子を話してくれました。子供のための児童館、いろいろなスポーツ施設、市民の広場、大々的な公園、広い土地をもった高校や大学、めずらしい資料館、友達の説明を聞いていたうちに、自分も帯広に行ってみたくなるとともに、三股にもそんな施設があつたらいいなあと思いました。

しかし、よく考えてみますと、三股には北海道にない良いものもたくさんあると思います。長田のつつじヶ丘には、美しく咲きみだれる花があり、たくさんのお客さんが来ます。夏には、沖水川を利用した自然プールで水泳が楽しめます。そこで私の夢ですが、自然を生かした多くの人が楽しめるいろいろな施設を作つたらどうかということなのです。

また先日は、宮崎市民会館で県の音楽発表大会があり、全校生徒で合唱しました。広くて、設備のととのったステージでの合唱は最高の気分でした。このように、文化的な施設がとこのことが本当の文教の町ではないかと思ひます。

私達の住む町が、すぐに、新しい町に生まれ変わることはありませんが、町民のみんなが、郷土を変えようという気持ちで努力していくことが大切だと思います。

私の夢は限りなく広がっていきませんが、「新しい郷土は、自分達一人一人がつくるのだ」ということを忘れないで、私なりにがんばっていきたいと思います。

私はこんな友達関係をつくりたい



黒木 真矢 長田小6年

私の通っている学校は、まわりを緑でかこまれた小さな学校です。全校で、六十七人しかいません。そのため、小さなじめじめでもどんだん広まっていき、ほかの学年をまきこむこともあります。

二年生の時のことです。私達の学級に、いじめが出てきました。けれど、それは本当にいじめているのかどうかかわらないくらい小さいものだったので、私は気にもとめていませんでした。

りにもいじめられている人がかわいそうだと思います。だけど、もし私がいじめられる人だったら、どうだったんでしょうか。やはり自分勝手だとか、楽しくないとかいうつまらないことで、いじめられるかもしれないと思ひました。だから何も言えませんでした。

そのいじめは、どんどんとエスカレートしていきました。そして、まわりにも別のいじめがでてきました。一番ひどかったのは、三年生の時でした。いつもは、女子が女子をいじめていたのに、三年生になると、女子が男子をいじめるようになりました。

私達のクラスは、男子が三人、女子が九人のクラスです。ですから、女子が男子をいじめても、男子の人数がすくないので、男子は抵抗できません。ひどい時は、男子だけが宅習を一ページ忘れるごとに、休み時間をつぶして十ページ書かないといけないということもありました。

前にも言いましたように長田小は、全校児童の人数が少なくクラス十人前後です。もしいじめが出た時はどちらかの、味方にならないといけないのです。いじめに関係していない人も、関係させられてしまうのです。

この六年間を考えると、いじめ

なしい時、それをなくさめ合ったり、はげまし合ったりできるのが、友達だと思ひます。いじめたり、いじめられたりすることが、本当の友達をつくることになるのでしょうか。困った時、心のささえになる友達が本当の友達だと思ひます。

あとわずかの小学校生活、これからの中学校生活を考えると、そうかんたんには、思った通りの友達関係はできないかもしれせん。しかし、だれが見ても、どこから見ても、楽しく明るい友達関係をつくっていきたいと思ひます。

と、言う返事が返ってききました。私達は、たったそれだけで、無視したり、悪口を言っているのは、あま

と、言う返事が返ってききました。私達は、たったそれだけで、無視したり、悪口を言っているのは、あま

私達のふるさと「三股」

私は、今まで三股のことについて深く考えたことはありませんでしたが、今度の長崎雲仙ふげん岳のニュースを見て、本当に私たちの所はいい所だと思ふようになりました。

私達は桜島の灰が少し降っただけで、「窓も開けられない。ざくざくする。桜島はいやだ。」と、大さわぎしています。それに比べて、雲仙の人達は住む家もなくなくて本当にかわいそうです。

私と三股町と直接つながっていることといえば、河川プールや図書館があります。自然の流れる水のプールは、私達にとってほこりでもあります。川はどこにでもありますが、河川プールのように、安全な施設ときれいな水がある所は三股ぐらいでしょう。

それから図書館のことです。私はいくつも利用しています。静かで、

利用者が来て、活気のある町へ発展すると思うのです。そのうえ、梶山にも人が住み、学校の生徒も増え、にぎやかになると思ひます。ただ、美しい自然や、田畑が消えるのは気がかりですが、仕方がないと思ひます。

次は、別の夢です。

三股は、よく「文教の町」と言われますが、昔から、よく勉強した人が多かったからだと思います。鹿児島の修学旅行で、いろいろなところを見学しましたが、特に勉強になったのがれいめい館と、尚古集成館でした。新しい科学やたくさんさんの社会科の資料が印象に残っています。

また先日は、宮崎市民会館で県の音楽発表大会があり、全校生徒で合唱しました。広くて、設備のととのったステージでの合唱は最高の気分でした。このように、文化的な施設がとこのことが本当の文教の町ではないかと思ひます。

私達の住む町が、すぐに、新しい町に生まれ変わることはありませんが、町民のみんなが、郷土を変えようという気持ちで努力していくことが大切だと思います。

私の夢は限りなく広がっていきませんが、「新しい郷土は、自分達一人一人がつくるのだ」ということを忘れないで、私なりにがんばっていきたいと思います。

友達と勉強するにはとてもよい場所です。それにいろんな分野の本があり、勉強になります。これまでに、いろんな人の伝記を読みましたが、それは社会の勉強に役立ちました。

ただ、古い本が多いことやえつらん室が少しせまいことがたまにきずです。休みの時など、席が空いていないときもあり、せつかく来たのがっかりすることがあります。もっと新しい本や、広いえつらん室がほしいです。そうなれば、もっともつと図書館を利用する人も増えるだろうし、私自身も利用回数が増えるだろうと思います。

といえば、長田きょう、椎八重公園があります。春には緑の中につづじがもえるように美しく、絵のようです。私は祖父の家が近くにいますので、毎年行っています。遠くから、わざわざ見に来る人もいるほどですが、もっとたくさんの人に来てもらいたい、三股の美しさを知ってもらいたいと思います。そのためには、駐車場を広くしなければならぬと思います。が……。

日本一安全な町 三股町へ



勝岡小6年 西村 国浩

私たちの住む三股町は、緑がいへん多く、河川の水もたいへんすんでいます。また道路とか住宅が整備されており、便利もよく、

私たちが生活したり、勉強に打ちこんでいくためには最高の場所となっております。

しかし、そのようなすばらしい町が、残念ながら交通事故の多さで県内でも有名な町となっているのです。これは、大変気がかりなことです。何としてもこの汚名を返上して、日本一安全に住みよい町にしなければなりません。

今日は、このことについて発表します。役場前には事故数とワースト順位を書いたかんばんがあります。つまり、悪いということが

び出ただけです。

ぼくは、母に車の運転中にひやっとした経験がないかきいてみました。母は、方向しじをしないで急に曲がる自転車がいて、すぐくひやっとしたことが何度もあるそうです。

次に子供のあぶない所は、「歩道を歩かない」「ふざけ合って歩く」などです。

このように、事故がおこらなかつたからいいものの、危険な事をしていくことも多いのです。昔の話ですが、ぼくの家の近くで一度交通事故があったそうです。その時はぼくはまだ小さい時で、祖父たちはつきりぼくが事故にあったと思って、心臓がとまりそうだったと話してくれました。小さな子供のことでだからとび出して、事故にあったのではないかと心配したのでしょうか。

学生の国民年金への当然加入

二十歳になられた皆さん、加入手続きはお済みですか

新たに成人の仲間入りをされた皆さん、おめでとございます。ところで、わが国では二十歳から六十歳までの国民は、すべて公的年金制度に加入することになっています。

学生の皆さんももちろん二十歳になれば国民年金に加入しなければなりません。

これにより、学生生活の間に起きた事故などで障害が生じた場合でも、年金による所得保証が受けられ、また、老齢基礎年金も満額が受けられます。

二十歳の誕生日を過ぎたら、国民年金の資格取得届を提出するようにしましょう。加入手続きは、お近くの市区町村役場の窓口で行ってください。



工場はありません。だから、水がよごれる心配は今のところありません。

町の開発なども大切だと思えますが、水源となる長田の方には大きな工場やゴルフ場なども作ってほしくありません。今、色々さわがれているゴルフ場のしばを入手入るための殺虫剤や除草剤などが、どのように地面にしみこみ、飲み水やプールの水にどんなえいさようをおよぼすか、わからないからです。本当にこわいと思います。

私たちは自分の町について、なかなか考えることはありませんが、私たちが二十才になった時がちょうど二十一世紀になるということを考えると、その時も自然の前でいになっているわけです。三股町には、「止まって確認、無事故に挑戦。」という標語もあるのですが、なぜか二年連続ワースト一位です。

ぼくは、自分なりにその原因をさぐってみました。テレビや新聞などで見ると、スピードいはん、飲酒運転、わき見運転などいろいろな原因が上げられます。実際に、それが原因で事故が数多くおこっているようです。

では、なぜスピードいはんをしたのでしょうか？なぜ飲酒運転をしたのでしょうか？なぜ飲酒運転をし

いっぱい残った三股町であればいいなあと思います。

私たちの小学校生活も、五ヶ月を残すだけとなってしまいました。運動会でおどったやつこおどりや三股ばやしはいつまでも心に残ることでしよう。これらのおどりは、昔から三股に伝わるものです。私たちがおどりを教えていたのだいたように、後輩たちにも伝えていきたいと思っています。

私のふるさと三股といっても、三股も広いし、宮村や勝岡のことなども、もつとくわしく知りたいと思います。昔、三股は文教の町といわれたそうですが、古い三股の伝統を残せるように、していければいいと思います。

たのでしよう？なぜわき見運転をしたのでしょうか？理由は「いそいでいた」「時間がたっていたので、だいじょうぶと思った」「みとれてしまった」などです。でもこれらは、自分の心がけしだいでは、解決できないものではないと思います。

実は大人だけでなく、私たち子どもを見ても、事故の原因になるようなことがたくさんあります。まず、とび出し、右側通行、二列、三列での自転車乗りです。子供の事故で一番多いのは、と



お宅の雑煮についてお聞きします。もちは丸もちですか、切りもちですか。もちは焼いてお雑煮にしますか、ゆでますか。

雑煮

雑煮の汁はみそ仕立てですか、すまし汁ですか。汁のだしは、かつお節や化学調味料などですか、それとも決まったもの（アワビ、ナマコ、エビ、トビウオ、タコなどの干したのものなど）ですか。もしかしたら、これらのどれでもないかもしれません。

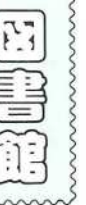
正月に雑煮を食べる風習は、ほとんど全国にあります。どちらかというところ、東日本では切りもちを焼いて、すまし汁に入れて雑煮にし、西日本では、丸もちを焼かずみそ仕立てが多いといわれています。とはいっても、地域により家によって、その作り方はまちまちです。

正月三が日をすまし汁、みそ仕立て、汁粉と日替わりにしたり、笹の葉につつんだア

メを入れてアメ雑煮にしたたり、汁なしの雑煮があったりと、変わった風習もあります。昔は正月に、雑煮のもちを、年の数だけ食べるのを楽しみにしていた子どももいました。いまは、ほかにもごちそうがあるのです、そういう子どもは少なくなりましたが、正月に雑煮を食べる祝う楽しみは変わりません。

一月は、成人式の月でもあります。成人を機に献血をとるので、一月十三日～二月十二日まで、「はたちの献血キャンペーン」が行われます。冬場は寒さの影響で献血者が減少します。新成人ばかりでなく、みんなで献血に協力したいものです。





だより (第62号)

ぶどうの会

本の無料交換会 大好評 大盛況

昨年は、町の「ふるさとまつり」の協賛行事として、歩行者天国の一テントを借り受け、店開きしました。

早い時期から、図書の提供を呼びかけたせいか、前回以上に集まりました。

たいへん好評で、朝から大にぎわいでした。午前中は提供者と無料交換、午後は、どなたにでも、無料で二冊まで配布しました。

おかげさまで、集まった本は午後になると、ほとんどなくなってしまうほど、大盛況でした。中には、この催しに心から賛同してくださり、寄金までしてくださった方もいて、感激しました。

会員一同、町民の皆様がこんなに喜んでくださり、賛意と協力をいただいたことに対し、一段と意を強くし、この意義を噛みしめた次第です。

今回で二回目、ほぼ定着した感があります。まつりに来て初めて知ったという人もあるので、次回はさらに啓蒙に努め、実のある

ものにしたと思っています。最後に、このように好評をいただく無料交換が実現できますことは、関係機関のご理解とご協力、寄贈してくださった方々のご厚意によるものと、紙上をお借りしまして厚く感謝申し上げます。

(ぶどうの会 一同)

第十九回 読書感想文・感想画 多数の応募作品

町内の各学校から、作文四九四点、絵画九八点が集まりました。審査に入っていますが、審査の結果発表は、「広報みまた 図書館だより第63号」に掲載する予定です。今回も、よい作品がたくさんあるようです。

読書は心の糧 図書館では、読書奨励として、読書カードの制度を設けていますが、25冊を読み終えて「多読賞」を受けた人が、九人います。どしどし読んで、感想文も、ぜひものにして欲しいです。

一月のお知らせ

- 休館日
・1月4日まで
・成人の日15日
・第三日曜日 19日
・月曜日 (20日は開館)
・火曜の午前 7・14・21・28日
土・日は開館していません。

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入手しました。ぜひ、ご利用ください。

書名 著者名

【一般向】

- 悠遊ライフをお洒落に 石津 謙介
銀のボンボンエール 雍仁親王妃勢津子
鳥のことわざうそほんとう 国松 俊英
太平記に学ぶ人間学 安藤 英男
朝の公園 竹西 寛子
決戦の時 上・下 遠藤 周作
病院で死ぬということ 山崎 章郎
シャンハイムーン 井上ひさし
紙喉道少年の記録 井上 光晴
お姑さんと呼ばないで 萩原 葉子
子には魚を与えるな 三好 義光
釣り方を教えよ 伊藤 礼
狸ビール 辻 勲
入門おふくろの味



- 書名 著者名
【小・中学生向】
くじらの歌ごえ D・シエルダン
ジュンのふしあわせ物語 辻 邦
おやすみなさいトムさん
絵で見るふるさとの伝統さがし ミシェル・マゴリアン
高野 尚好
1、身近にある歴史の発見
2、ふるさとの伝統工芸
3、ふるさとの特産品
4、今にのこる民家と町なみ
5、生きている伝統芸能

- 【幼児向】
ぴかくんめをまわす 松居 直
おだんごばん 瀬田 貞二
昆虫 得田 之久
しずかなおはなし
サムイル・マルシャーク
三びきのやぎのがらがらどん
マーシャ・ブラウン
てぶくろ
エウゲーニー・M・ラチョフ
すきときどききらい 東 君平
もうすぐおにいちゃん
大友のり子
ぼくの にんじん
ルース・クラウス
うさぎのくに
デニーズ・トレッツ
ぴーちゃんくもにとぶ 松井 紀子

棒踊りを長崎で披露

スポーツ少年団「心武会」

本町に伝わるすばらしい郷土芸能を県外にも紹介しようと、スポーツ少年団「心武会」(全日本空手道、指導者・北川美次、団員百名)は十一月十日、長崎県世知原町で開催された拳旗空手道選手権大会で「新馬場棒踊り」を披露、会場に詰めかけた多くの長崎県民を魅了しました。



踊りは、大会に招待されたお礼にと披露したものの。事前に団員の五・六年生が教委職員の指導のもとに特訓を行い、法被や棒などの道具は父母らが町内企業の協力を得て準備しました。当日は昼食時間帯に、五・六年生二十四名が棒を片手に、法被にハチマキ姿で体育館の中央に登

NHK長崎が放映

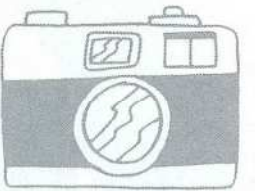
教育研究所

町教育研究所の研究発表会が十二月二日、三股西小で開かれ、同研究所の研究員や教育関係者約四十名が参加しました。発表内容は「パソコン学習」。クラブ活動でパソコンを習っている三股小の六年生十九名が、その成果を発表。たくみにキーを操作しながら年賀状づくりをしました。

研究の成果を発表



町の話題



寝たきり老人や障害者を抱えている家族、ホームヘルパーなどを対象にした介護者教室が、先ほどデイ・サービスセンターで開かれ、参加者約三十名が日赤宮崎支部の専門員の指導を受けながら、寝

介護者教室



間着の着せ替えやシーツの替え方などを学びました。

火災防ぎよ訓練を行う

役場火災を想定

役場の火災を想定した火災防ぎよ訓練が、十一月十四日行われ、役場職員や町消防団員など約三百名が参加しました。訓練は、三階湯沸かし室から出火、自衛消防隊では消しきれず、職員が庁舎内に取り残されるという想定で、はしご車や

消防車17台が出動

消防車、救急車など十七台が出動して消火救助活動を展開。また、庁舎内で身動きできない職員を救出するため、ガスマスクや酸素ボンベを装備したレスキュー隊が出動するなど、本番さながらの訓練が繰り返されました。



消防本部に補給車

6.5t 水槽

防災まちづくり事業の一環として、町ではこのほど小型動力ポンプ付水槽車を購入、消防団機動本部に配備しました。購入価格は約一千六百万円。水槽容量は六・五トン。消火活動をしている消防車に水を補給するので、通称「補給車」と呼ばれています。ほかに、二灯式の照明灯四基、空気呼吸器三基、酸素ボンベ六本などを装備しており、火災時の活躍が期待されています。



全日本学生選手権で 金メダル

レスリング フリー62K級

本町出身の 日体大3年 中石義洋さん

昨年に実施されたレスリング全日本学生選手権大会で、本町出身の中石義洋さん（日体大三年）がフリー62キロ級で優勝、栄光の金メダルを手に入れました。義洋さんは新馬場の中石義成・洋子さんの長男。三股中時代は柔道部に所属していましたが、都城高一年の時にレスリングの道へ。以来、九州の高校チャンピオンになったり、国体でも常に上位入賞。一昨年にカナダで行われた世界選手権大



会では銅メダルに輝いています。現在、バルセロナ・オリンピックの候補選手として練習に励んでおり、今後の活躍が期待されます。

あなたは、家族・友人が救えますか

東高で「蘇生法」講習会

マラソンの季節を迎え、突然の心臓疾患に対応できるようにと、都城東高は十二月十三日、「赤十字蘇生法」短期講習会を開き、救急法の資格をもった生徒や教諭ら三十名が心臓マッサージ法を学びました。



真剣に蘇生法を学ぶ生徒ら

同校は青少年赤十字の加盟校。定期的に人工呼吸などの救急法講習会を開いています。が、心臓まで止まった時を想定し、心臓マッ

犬の彫刻を寄贈

宮原三夫さん 80歳



満八十歳になった記念にと、東原の宮原三夫さんはこのほど町に木彫りの犬を寄贈されました。寄贈されたのは昭和五十七年の県老人クラブ作品展に入選したもので、縦29センチ、横57センチ、奥行29センチの座姿の犬。作品名は「待機」。宮原さんは仏像などの彫刻が得意で、県展での知事賞や栄誉賞をはじめ、宮日美術展や各種の美術展に数多く入選、その技術は県内でも高い評価を受けています。

本町から5名も入選

「土地改良」作文・標語・イラストコンクール

土地改良事業団体連合会が県内の小学生を対象に募集した、「土地改良」をテーマにした作文・標語・イラストコンクールに本町の小学生五名が入選、その表彰式が十一月六日、宮崎厚生年金会館で行われました。

- 入選者は次のとおり。
- 作文の部【応募数三七八点】
 - 金賞 松野優子（宮村小六年）
 - 銀賞 赤木 剛（三股西小六年）
 - 銅賞 中島隆治（三股西小六年）
- イラストの部【応募数三〇三点】
 - 金賞 瀬尾貴英（宮村小六年）
 - 銀賞 工藤勝彦（宮村小六年）



青少年健全育成で表彰

勝岡みどりの少年団

勝岡みどりの少年団は、昭和52年の創立以来、積極的に緑化活動や環境美化活動を展開しており、また、その活動を通して児童の健全育成が図られています。今回、その活動が他の模範になるとして、県条例に基づいて表彰されました。